

菊澤研宗さんと考える 【人間の自由と組織の本質】



講師 慶應義塾大学商学部教授 菊澤 研宗 Kensyu Kikuzawa

社会の問題を自分達の問題として捉え直す

近代以降の社会システムは、「自由」と「資本主義」を思想的基盤として成立し、大きな発展を遂げてきました。一方で現代社会は、先進国経済の混迷や中国・ロシアの覇権主義的行動にみられるように、近代思想の脆弱性や普遍性に対する疑問に直面しています。

本講座では、「人間の自由と組織の本質」という原理的な問いに向き合い、思索を深めてきた近代思想家たちの考え方を振り返りつつ、「自由」論の来し方・行く末、多様性・発展性について考えてみます。

菊澤 研宗

10/18 ㊦

第1回

14:00～17:00

カントとヘーゲルの 自由論と組織

人間は古来さまざまな意味で「自由」を論じてきましたが、究極的にはカントの「個人主義的人間論」とヘーゲルの「全体主義的自由論」に辿り着くと言われています。対極をなす両者の自由論を取り上げ、自由の原理と組織の関係について考えてみます。

イマヌエル・カント(1724-1804):ドイツの哲学者・思想家
ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲル(1770-1831):ドイツの哲学者

11/1 ㊦

第2回

14:00～17:00

ヴェーバーの「二つの合理性」が意味するもの

マックス・ヴェーバーは、西欧の近代化を「価値合理性」と「目的合理性」の二つの概念で分析した結果、個人の自由意志を尊ぶ価値合理的世界から目的合理的な機械的組織社会へと変化するであろうと预言しました。この预言の意味するところを議論します。

マックス・ヴェーバー(1864-1920):ドイツの社会学者、経済学者

11/15 ㊦

第3回

14:00～17:00

アーレントが示唆した 「権威と服従」のリスク

アーレントは、ナチス戦犯アイヒマンの裁判を傍聴し、本質的な悪とは自由意志を行使しない目的合理的人間だと喝破しました。それはごく平凡な誰もが極悪人になり、全体主義に絡め取られるかもしれないリスクの指摘でもありました。

ハンナ・アーレント(1906-1975):ユダヤ系ドイツ人の哲学者

11/29 ㊦

第4回

14:00～17:00

ドラッカーが唱えた「自由な経済社会」と企業の役割

ナチス政権下のドイツを逃れたドラッカーは、来るべき自由な経済社会の主役は企業であると提唱しました。そして経営者が自由意志を行使することで、イノベーションが生まれ、企業の成長と社会の発展につながることを説きました。

ピーター・ドラッカー(1909-2005):ユダヤ系オーストリア人の社会思想家

12/13 ㊦

第5回

14:00～17:00

フロムが憂えた 「自由からの逃走」

精神分析の知見を社会情勢全般に適用したフロムは、「人間に自由を与えずると、逆に自由から逃避したくなり、大きな権威に従属しようとする」という警鐘を鳴らしました。それは再び全体主義が現れる可能性を告げるものでした。

エーリヒ・フロム(1900-1980):ユダヤ系ドイツ人の社会心理学者、哲学者

12/20 ㊦

第6回

14:00～17:00

現代アメリカの 自由が抱える諸問題

菊澤教授は、今春まで二年間客員研究員として米国に在住していました。アーレント、ドラッカー、フロム等が理想を求めて移住したアメリカ社会は、いまどんな問題を抱えているのか。もし彼らが現代アメリカの自由をみたとしたら何と云うのか、菊澤教授に聞いてみます。

古典を通して、いまを考える

カント、ヘーゲルからドラッカーまで、本講座で取り上げるのはドイツ・オーストリア系の社会思想です。自由と経済成長との調和社会を目指しながらも、マルクス主義の台頭、大戦での敗北、ファシズム支配という社会変化の荒波を受け、理想社会の実現を夢見てアメリカに移住した彼らの人生と思索を、ドイツ・オーストリア系の社会思想に精通した経営学者菊澤教授が、現代社会や企業組織の問題に擬えながら解説します。

開 催 概 要

日 程	2014年10/18、11/1、11/15、11/29、12/13、12/20(すべて土曜日)
回 数	6回
時 間	14:00-17:00 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円((消費税8%込)
お勧めしたい方	・自由と資本主義について深く思索し、議論したい方 ・経済・社会思想に関わる古典をじっくり読みこみたい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

菊澤 研宗(きくざわ けんしゅう)

1957年生まれ、慶應義塾大学商学部卒業、同大学大学院博士課程修了後、防衛大学校教授・中央大学教授などを経て、2006年に慶應義塾大学商学部・商学研究科教授に就任。この間、ニューヨーク大学スターン経営大学院で1年間、カリフォルニア大学バークレー校、ハース経営大学院に2年間、客員研究員として研究を行う。

●主な著書

『なぜ「改革」は合理的に失敗するのか 改革の不条理』(朝日新聞出版)、『企業の不条理』(中央経済社)、『戦略の不条理—なぜ合理的行動は失敗するのか』(光文社新書)、『組織は合理的に失敗する』(日経ビジネス人文庫)、『戦略学—立体的戦略の原理』(ダイヤモンド社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。